

かがやき



大久保小学校 学校だよりNo. 1 8
令和5年11月9日
発行者 黒田 優一



歴史を刻む ～大久保小学校創立100周年記念式典～

大久保小学校は、1923年（大正12年）11月5日、「大久保尋常高等小学校」として開校しました。校舎は当時としては珍しい鉄筋コンクリート造りで、各地からその姿を見に来られるほどモダンな建物だったそうです。創立当初の児童数は1,449名で、以後高等科の廃止や校区の変更を経ながら、「大久保尋常小学校」、「大久保国民学校」と名を改め、1947年（昭和22年）に現在の校名「佐世保市立大久保小学校」となります。創立以来11,283名の卒業生を送り出しながら、開校以来数々の歴史を刻んでまいりました。

11月5日は創立記念日でした。大久保小学校の100歳の誕生日を、子どもたち、ご来賓の皆様、保護者や地域の皆様、職員みんなで一緒にお祝いしました。

オープニングセレモニーは「五葉太鼓」の演奏です。子どもたちが奏でる力強い太鼓の音とともに創立記念日の式典が始まりました。

第1部は「100周年記念式典」です。佐世保市教育委員会陣内教育長様、学校支援会議委員の皆様、歴代の校長先生やPTA会長様をはじめ、日頃お世話になっている地域の皆様をお招きし、記念式典を行いました。子どもたちはおごそかな雰囲気の中、100年という重みを感じながら、静かに話を聞き、式典に参加することができました。

第2部は「輝きっ子発表会」です。いよいよ子どもたちの出番です。

3・4年生は、小学校音楽発表会で発表した曲を、美しい声とリコーダーの演奏で発表しました。3年生は「高齢者・障がい者疑似体験教室」で学んだことを、4年生は「ぼかし作り」で活動したことを、併せて発表することができました。

1・2年生は、「とくいなことやがんばっていること」を、ステージの上で一人一人発表することができました。最後に運動会で踊った「オオクボピース」を元気よく披露することができました。

5年生は、宿泊体験学習で学んだことを「みんなで協力して学んだ100のすごさ」という劇にして発表しました。協力することや心一つにすることの大切さを伝えることができました。

6年生は、「ハッピーバースデー！大久保小学校」と題して、大久保小学校の歴史を、写真等を活用して紹介しました。大久保小学校の100年間の歴史をみんなで伝えることができました。

最後に、大久保地区の合唱団「おーくぼーいず」の皆様の美しい歌声を聴くことができました。

第3部は「講演会」です。佐世保史談会の中島眞澄先生をお招きし、「大久保小学校の創立100周年を記念して」と題してご講演いただきました。写真や先生の子どもの時代のエピソードを交えながらお話しいただき、大久保小学校や大久保地区の歴史について楽しく学ぶことができました。

第4部は「100周年セレモニー」です。創立記念日の締めくくりとして、子どもたち、保護者や地域の皆様と一緒に、バルーンリリースを行いました。青空の中を勢いよく進んでいく風船に、子どもたちは未来に向かうこれからの自分たちの姿を重ねていたのかもしれない。

100年という長い歴史の中の記念すべき日に立ち会えたことはとても嬉しいことです。これまで築き上げてきた歴史に、大久保小学校は、今も、そしてこれからも、子どもたちの輝く姿、輝く歴史を刻んでまいります。今の、そしてこれからの大久保小学校の歴史を刻むのは、子どもたち、保護者の皆様、地域の皆様、職員を含め、今ここにいる大久保小学校のみんなです。今後とも本校の教育活動への保護者の皆様、地域の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。